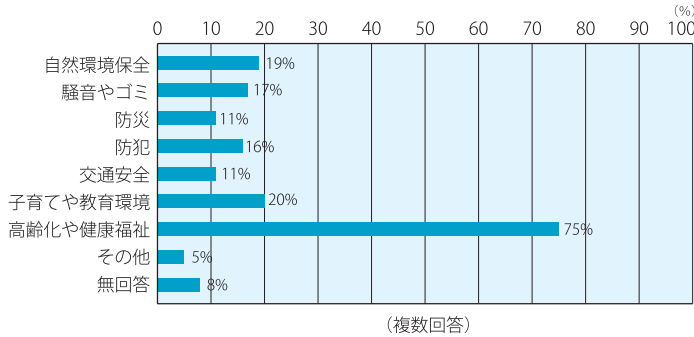


## 那珂川町の 現状と課題

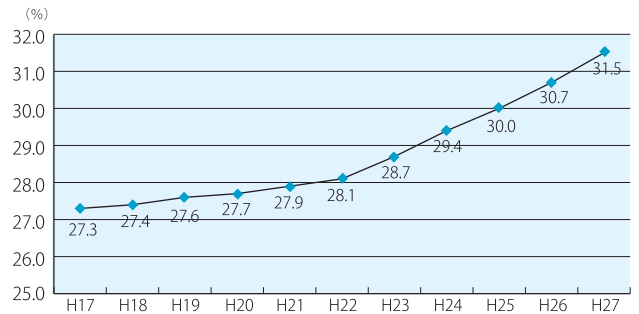
少子高齢化や不安定な経済情勢によって、町の財政状況は厳しさを増してきています。このような状況にあっても安心して魅力あるまちづくりが求められています。

なお、行政区長等を対象に行ったアンケート調査の結果、「地域で特に不安なこと」として、高齢化や健康福祉、自然環境保全、子育て教育環境等が高い割合を占めました。

地域で特に不安なこと



高齢化率の推移



## 協働の担い手の 現状と課題

行政区や自治会は、お互いを思いやり、声をかけあい、助け合うことができる組織であり、協働のまちづくりを進めるうえで、最も大切な組織です。

### ●行政区・自治会の現状●

行政区や自治会は、地域の努力によって組織的に運営されています。しかし、その加入率は低下傾向にあり、高齢者世帯の増加や行事への参加者の固定化等によって、責任や負担が一部の役員などに集中するといった課題も抱えています。

### ●行政区・自治会のあり方●

行政区や自治会は、住民同士の交流から住民の生活を助け合う活動等、さまざまな役割を担ってきました。今後は、このような、総合的な役割を保持しながらも、地域の課題を自分たちで解決し決定していく役割が期待されています。



進んで地域のことを考え、行動する住民が育つ  
住民の視点に立った公共サービスが地域に生まれる  
力を出し合い、個性と活力あるまちになる



環境美化活動(道路清掃)



花の風まつり(まほろばがたり)



地域の夏祭り

## 協働事業の 先進事例

各地域コミュニティが地域の特色を活かした協働のまちづくり事業に取り組んでいます。



ボランティア盛谷協議会(ポピーまつり)



とみやまの郷づくり会(ホタルまつり)



和見村おこし協議会(特産品づくり事業)



そば処ふれあいの舎利用組合(農業体験事業)

## 協働モデル事業の 推進と評価

自発的、自主的に取り組まれる事業を「協働モデル事業」に指定し、進捗状況を公開するとともに事業評価を行い、次に取り組む事業に活かします。

町の事務事業には、協働により取り組むことによって、より効果的であると考えられるものが数多くあります。

地域の課題や魅力を一番よく知っている地域住民が主役になって考え、住民と行政が協力し合って取り組んでいくことで、個性と活力あるまちづくりにつながるものと考えます。

なお、協働は、自発的、自主的ということが基本であることから、町が協働活動に関する環境整備及び活動支援施策を推進することで、地域住民自らが主役となって進める次のような協働のまちづくり事業が生まれることを期待するものです。

### ● 協働事業例

交通安全対策活動	通学路等における交通安全指導や見守り運動
防犯対策活動	通学児童の安全を確保するための防犯パトロール等
防災訓練の実施	避難誘導訓練、炊き出し訓練等の実施
不法投棄対策活動	地域ぐるみの監視体制の構築
リサイクル活動	資源ごみのリサイクル運動の推進
環境美化活動	花の植栽、ゴミ拾い、ゴミ収集場所の清掃等
道路等の管理	道路や河川の清掃活動、道路の軽微な維持修繕
公園の管理	除草作業や植木の剪定等
児童預かり支援	共働き家庭等の低学年児童預かり支援
高齢者等支援	高齢者や障害者に対する軽度生活援助、災害時の非難支援